

# 平成25年度決算をお知らせします

問 財政課 代表 〇

市では、市のお金がどのように使われているかを知っていただくため、毎年2回(5月、11月)に財政状況の公表を行っています。広報今号では平成25年度(平成25年4月〜平成26年3月)の決算状況をお知らせします。

## 平成25年度に実施した新規事業および充実させた事業

### 1. 参画と協働のまち……約13億4,000万円

- 市制施行50周年記念事業の実施(みんなで元気に!ひとつになろう日野)
- 公共施設白書の作成
- 公立施設の民営化、委託化など

### 2. 子供が輝くまち……約40億5,000万円

- エール(発達・教育支援センター)の建設
- 第2次日野市特別支援教育推進計画の推進と次期計画の策定
- 保育園の待機児解消(建替や機能移転に伴う定員拡大)と保育の質の向上(民間保育園への運営支援など)
- 第2次日野市学校教育基本構想の策定など

### 3. 健やかでともに支えあうまち……約6億3,000万円

- 地域密着型介護サービスの充実
- がんに負けない社会の実現(各種がん検診受診率向上や小・中学校におけるがんに関する教育など)
- 市立病院の経営健全化など

### 4. 日野人・日野文化を育てるまち……約3億7,000万円

- 第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)空手道、ホッケー、ボクシング競技の開催など

### 5. 自然と調和した環境に優しいまち……約15億8,000万円

- ごみゼロ社会の推進(ごみ処理の広域化の検討や周辺環境整備の準備など)
- 「水都・日野」事業(水辺のある風景日野50選選定事業)の実施など

### 6. 安全で安心して暮らせるまち……約3億3,000万円

- 地域防災計画の策定
- 小・中学校における防災教育の充実など

### 7. 地域の魅力を活かした活力あるまち……約34億4,000万円

- 地域経済の再生に向けた基盤づくり(多摩平の森重点地区まちづくりなど)
- 道路網などの整備促進による経済活性化
- 地域戦略室の設置
- 工業みえる化推進事業の実施
- 第3次日野市農業振興計画・アクションプランの策定など



▲市制施行50周年記念事業



▲エール(発達・教育支援センター)



▲第68回国民体育大会・ボクシング競技

## 平成25年度 事業別コスト計算書

事業別コスト計算書は、市民に身近な行政サービスの1年間のコストと、どのような収入で賄われたか、また、利用者1人当たりなどの単位コストはいくらになるのかを明らかにしています。ここでは、市民の森ふれあいホールと図書館の2例を掲載します。

※詳細は市内各図書館または市庁舎でご覧いただけます

### (例1) 市民の森ふれあいホール

●年間コストの内訳(単位:円)		●収入の内訳(単位:円)	
区分	全体合計	区分	金額
管理運営経費	5,429万4,148	使用料	2,229万9,913
減価償却費	5,128万3,975	その他	2,161万1,567
(合計)	1億557万8,123	(合計)	4,390万2,480

※その他収入は、駐車場使用料などです

●利用者数…155,715人(団体利用147,151人、個人利用8,564人)

●単位コスト※1の内訳(単位:円)

	利用者1人当たりの経費	市民1人当たりの経費
総コスト※2	678	587
純コスト(一般財源)※3	396	343

【参考】平成24年度(単位:円)

	利用者1人当たりの経費	市民1人当たりの経費
総コスト	883	591
純コスト(一般財源)	557	373

※1「単位コスト」…年間コストを利用件数(人数)または日野市の人口179,771人(平成26年3月31日現在の住民基本台帳による)で割って算出した数値です。利用件数(人数)当たりのコストだけでなく、市民1人当たりのコストも併せて算出しています

※2「総コスト」…年間コストを利用件数(人数)または日野市の人口で割って算出した数値

※3「純コスト(一般財源)」…年間コストから収入金額を引いた後の金額を、利用件数(人数)または日野市の人口で割って算出した数値をそれぞれ表しています

### (例2) 図書館

●年間コストの内訳(単位:円)		●収入の内訳(単位:円)	
区分	金額	区分	金額
給料職員手当等	3億1,928万5,717	乾式複写機使用料	1,257,410
管理運営経費	1億6,905万7,440	市史資料集等	562,430
(小計)	4億8,834万3,157	その他	151,712
減価償却費	1,366万2,525	(合計)	1,971,552
(合計)	5億200万5,682		

●利用者数…延べ466,093人

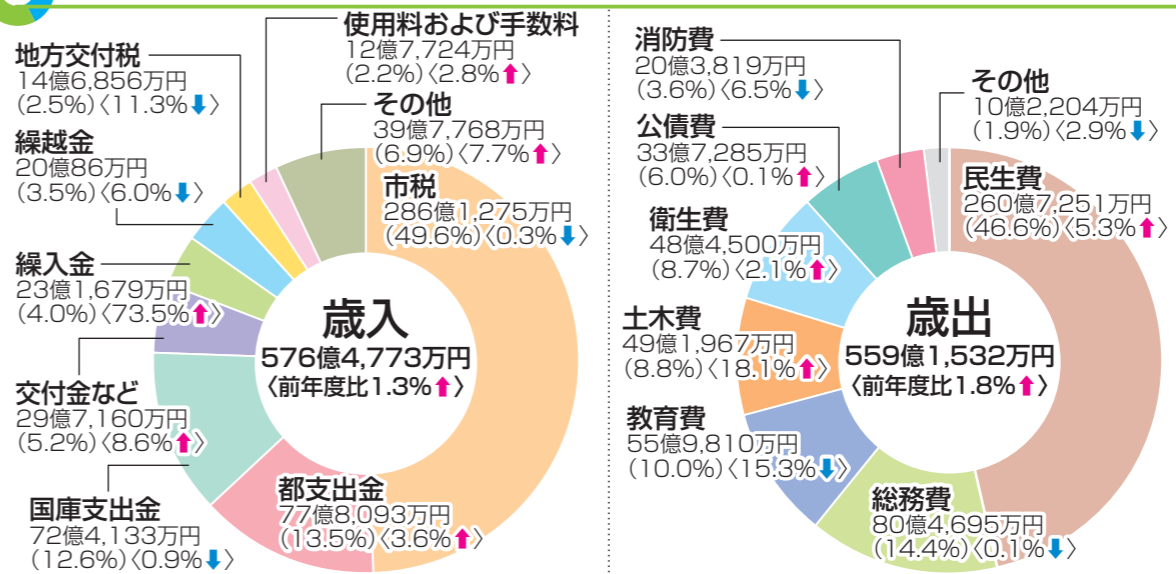
●単位コスト※1の内訳(単位:円)

	利用者1人当たりの経費	市民1人当たりの経費
総コスト※2	1,077	2,792
純コスト(一般財源)※3	1,073	2,782

【参考】平成24年度(単位:円)

	利用者1人当たりの経費	市民1人当たりの経費
総コスト	1,132	2,996
純コスト(一般財源)	1,128	2,985

## 一般会計



## 特別会計

会計名	歳入(対前年度比)	歳出(対前年度比)
国民健康保険特別会計	176億7,823万円 (3.1%)	174億1,583万円 (3.0%)
土地区画整理事業特別会計	34億1,964万円 (△8.9%)	32億438万円 (△11.9%)
下水道事業特別会計	48億2,732万円 (1.2%)	47億1,450万円 (3.5%)
介護保険特別会計	109億4,702万円 (5.9%)	107億3,627万円 (4.1%)
後期高齢者医療特別会計	33億2,303万円 (3.3%)	33億1,468万円 (3.6%)
市立病院事業会計	80億8,965万円 (1.5%)	85億5,273万円 (4.2%)
合計	482億8,490万円 (2.3%)	479億3,839万円 (2.4%)

(注)金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

## 総額

	歳入(対前年度比)	歳出(対前年度比)
一般会計	576億4,773万円 (1.3%)	559億1,532万円 (1.8%)
特別会計	482億8,490万円 (2.3%)	479億3,839万円 (2.4%)
合計	1,059億3,263万円 (1.7%)	1,038億5,371万円 (1.8%)

## 歳出を市民1人当たりで算出すると

